

問3 A vs B

7名

優秀答案発表

ふたつの異なる自然環境を取り上げ、
それぞれの地域に発達した文明の違いを、
なぜその違いが生じたかの理由とともに説明してください。

実在のものでも架空のものでもよいですが、
講義で取り上げた事例そのままは用いないこと。

格差思想誕生 S.H.さん

A: 山脈や盆地など、高低差が大きい地域 B: 広い平野が続く地域
Aは、単純な高低差やそれによる気温の差、自然環境の差から、様々な
"差"を持つ場所に人が住み、やがて格差社会の思想が生まれる。Bでは場所に
よって差は小さく、この地域の人々には住んでも差が生まれないので、平等な社会が生まれる。
(架空です。)

山 vs 河口 K.O.さん

A、山

山だと、農産物を育てるという観点
から、水のあつまる谷や、日あたりの
いい南向きの地域に集落ができて、
そこで文明が発達する。ただ、山に閉
まれていると、他の文明と交流が少なく、
独自のものが生まれる。

B、河口

河口だと、山とはちがって水や畑あたりといった
困難はないため、人々は利便性の高い
場所に集まる。水の得やすく、水路と
いった観点で交通にも便利な川沿い
がとくに思いあたる。そこで文明が生じると考えられる。
交通がよいということもあり、文明は早く伝わり、大国がうまれると考えられる。

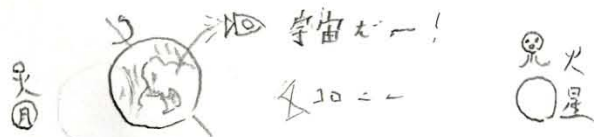
ベンチャー H.M.さん

アメリカは、広大な土地を有している為、ビジネスにおけるチャンスもたくさん転がっている。故に、失敗を恐れずに新たな事に挑戦していくことにもめざしいかな。したがって、Google等、力を持ったベンチャー企業が誕生しやすい土壌がある。一方、日本は、狭い国土である。故に、チャンスが限られており、失敗が許されない。また、小さな周縁の和を大事にする為、失敗に対する周りの目も厳しい。したがって、新たな流れを生み出す勢いのあるベンチャー企業は、誕生しにくい傾向にある。

ロケット立国 K.K.さん

西暦2XXX年、地球の資源は枯渇し人々は宇宙に資源を求めよう。宇宙大航海時代である。赤道に近い地域ほど(遠心力で)ロケットを飛ばしやすいので、地上と宇宙の交流の拠点として栄え、緯度の高い地域の文明は衰えた。

低い
コストで



ドクエ vs FF S.M.さん

ドクエ vs FF
(JxTD) (JxTF)

商業に関しては共通して、世界にはびこる魔物を討伐し、その世界の通貨を手に入れる文化が発達しているが、二つの世界の文明には異なる点がある。Dの世界では主に勇者という人種が1人存在し、この人間に対し世界全域が過保護な対応と引き換えに、その地域の問題点を除去してもらうといった宗教じみた風習が存在する。つまりこの世界の発展が1人の人間に委ねられているのだ。一方、Fの世界では時に現象を司り、時に光と闇を司るといった神のような力をもつ美しい石を祭り、その力を使い豊かな文明を築き上げていった。興味深いのは、その力の種類によってそれぞれ別々の文明が生まれ、地域によって全く異なる文明が築かれたことである。Dの世界では他の地域との交流が盛んであり、例の1人の人間の知名度が次他の地域にも伝播する程であるが、Fの世界ではそれぞれが1つの石を崇拝し、他の交流を許さぬような環境が出来上がっている。超人的な力をもつものの違いにより、世界の文明に大きな相異点が生じる典型的な例である。
(モデル D=IV, F=V)

ナウシカ vs マクロス S.L.さん

ナウシカの世界：積極的でないが対知不可な脅威(オーガ)が存在したため、各地に小さな都市を作り閉鎖的な文明を作って人類全体が種としてほろびるリスクを減らした。

マクロスの世界：積極的な脅威(デカチャー)に対処するため地球での単一な政府を作り対抗した。

文明の大きさは、脅威に比例するが、ある点をすぎると種の保存のリスク分散へ向う。

ONE PIECE T.M.さん

3. ウォーターセブン と スカイピア

この2つの国はそれぞれ、とある厳しい自然環境から他国との交流が乏しかった。しかし、とある過程を経て、それぞれまったく異なる発展をとげた。

① ウォーターセブン

ウォーターセブンは「水の都」と呼ばれ、陸路よりも水路が深い町の中をヤガラと呼ばれる生物に乗って移動し人々は生活している。水エレベーター、水水肉など、水を利用した技術が発達しており、特に造船技術は他国とは群を抜くものがあった。

しかし、この国は海面上昇による町の沈没と「アララガ」^{町をみこむほどの}と呼ばれる高潮に悩まされていた。町の沈没は建物の上に建物を建てることで回避していたがそれも追いつかず、「アララガ」に人々は恐怖していた。また島の周囲には海獣や海王類、海賊のせいで国外との交流はほとんどなく、沈みゆく町を見ながら、人々は意気消沈していた。

「海列車」を造ることに成功した。これは、隣の島との間に縄はしごの柱をたてようとして移動する海の影響を受けず、より安全な生物の嫌がる海獣、海王類も寄ってこないといくものだった。これにより、他国との交流は、いつでも島から脱出できるという安心感から人々は活気づいた。

であり、高度10000mに存在している。その高度から他国との交流は大地に存在しないため、植物などが生えることもなかった。そこで人々は雲を切り取り、加工し、様々な物資として利用した。また、熱、光、音など、様々なものを貯めることでできる奥に文化を取り入れ、また、また「10000mのアストリール」と呼ばれる、海面から突き出た活動の原因と言われている（詳細不明）によって運ばれてくる地上の少ではあるが地上の知識を得たり、土や植物を手に入れ、栽培

② この2つの国の違いを表れるとこうなる。

	目指したもの	結果
ウォーターセブン	他国との交流	他との交流が極めて盛人になる。
スカイピア	自国文化の発展	完全に独自の文化を成立させる。

③ この2つの国の違いを表れるとこうなる。

	目指したもの	結果
ウォーターセブン	他国との交流	他との交流が極めて盛人になる。
スカイピア	自国文化の発展	完全に独自の文化を成立させる。

人々が他との交流を絶たれたとき、あきまで降客を乗り切り、他との交流を求めるか、内側には何かを求めるのかの2つの方向性がある。こうして似たりよな環境でも、時々異なれば、大きく違ってくる。

(出典: ONE PIECE
作: 尾田栄一郎)